

2019年度 ヨーロッパコース

所属ゼミ	卒業論文題目—副題—
水谷智ゼミ	イタリアの若者の人生設計
清水穰ゼミ	1990年代、ブリットポップムーブメントは何故終わったのか
水谷智ゼミ	成長神話からの脱却—新しい「豊かさ」の指標を求めて—
小野文生ゼミ	北欧型福祉国家における排除の構造—ナチスの人種主義により創出されたLebensbornの母子の事例から—
清水穰ゼミ	現実に留まるファンタジー—『指輪物語』はメルヘンなのか—
伊藤玄吾ゼミ	フランス語における硬口蓋音化について
穠山洋子ゼミ ／菊池恵介ゼミ	臓器提供において世界トップとなれたスペイン—その取り組みと成功の背景—
水谷智ゼミ	イギリスにおける社会統合—「ブリティッシュネス」の再考と「ブリティッシュ・ムスリム」のアイデンティティ形成—
稲本健二ゼミ	大戦間期イギリスにおけるデザインのモダニズム
水谷智ゼミ	アイルランドにおけるナショナル・ソングの使われ方—トマス・デイヴィスを例に—
小野文生ゼミ	デモクラシーにおける暴力の位置付けについて—ジャン・ジョレスのクリエール炭鉱の事故を巡る言説を中心に—
伊藤玄吾ゼミ	ロココの美学とその越境的性格
伊藤玄吾ゼミ	フランス菓子の変遷—革命前後のレシピ比較を通して—
清水穰ゼミ	ミュージカルはなぜアメリカのものなのか
穠山洋子ゼミ	19世紀ドイツにおける反ユダヤ主義—分化するユダヤ人から見るドイツ社会—
清水穰ゼミ	ルイジ・ギッリの色彩とイタリア風景
穠山洋子ゼミ	ナチの「忘れられた犠牲者」に対する社会的認知—エホバの証人を事例に—
清水穰ゼミ	映画におけるホロコースト表象の差異
伊藤玄吾ゼミ	初期近代英語の成立とウィリアム・キャクストン—その言語観と出版戦略—
小野文生ゼミ	ドイツの移民ケア労働者による「24 時間介護・世話」の現状と課題—家庭内におけるケア労働市場の構造化に着目して—
穠山洋子ゼミ	フランスの福祉排外主義—国民連合を事例に—
清水穰ゼミ	加速する「欧州サッカーバブル時代」—新興勢力の介入と熾烈な放映権争い—
中野幸男ゼミ	世界遺産の変化がもたらした課題とその対策—世界遺産の「逆転登録」から考える—
清水穰ゼミ	戦後イギリス社会におけるアートの反抗：ポップとパンク—
小野文生ゼミ	マレ地区の保全論争史に見る歴史表象—景観から排除されたユダヤ人に着目して—
穠山洋子ゼミ	EUシティズンシップとは何か—国境を越える新しいシティズンシップ—

2019年度 ヨーロッパコース

所属ゼミ	卒業論文題目—副題—
小野文生ゼミ	デュルケーム「道徳的個人主義」の可能性と意義—論文「個人主義と知識人」の考察を中心に—
清水穰ゼミ	『ジェーン・エア』の映像化作品における描写の変遷
穂山洋子ゼミ	統一後もなお埋まらないドイツ東西間の溝—育児・女性就労を中心とした家族政策の観点から—
中野幸男ゼミ	差別・偏見に繋がる大衆の認識—社会的支配志向性とポピュリズム政治から—
水谷智ゼミ	ダンスが表象するアイリッシュネス—ゲーリック・リーグと『リバーダンス』—
水谷智ゼミ	変化する“チャイニーズ”としてのアイデンティティ—イギリスの中国系移民2世とイギリス社会—
水谷智ゼミ	<植民地的遭遇>によって「西洋文明」が英領インド女性に与えた影響—パンディター・ラマーバーイの場合—
穂山洋子ゼミ	なぜブリュッセルは「テロの温床」と化したか
水谷智ゼミ	ウェールズ人らしさとは何か—ドラマ『Gavin and Stacey』から読み解くWelshness—
中野幸男ゼミ	ダークツーリズムと第二次世界大戦の記憶の継承について—日本とポーランドを例に—
稲本健二ゼミ	英語を公用語としないヨーロッパの国や地域における言語政策と英語の普及
穂山洋子ゼミ	ドイツのスカーフ論争を通してみる公教育の場における宗教的中立性
稲本健二ゼミ	日本のマンガにおけるメビウスの影響
小野文生ゼミ	抑圧者と被抑圧者の異なるナラティブを架橋するものは何か—イラン・バベの橋渡しのナラティブ—を手掛かりに—
伊藤玄吾ゼミ	オランプ・ドゥ・グージュの演劇作品とその思想—『修道院あるいは強いられた誓願』『黒人奴隷制あるいは幸福な難破』を中心に—
小野文生ゼミ	「水俣病」呼称変更運動の中に見られる水俣のリアリティー—1970年代と2019年の病名変更運動に関する考察—
稲本健二ゼミ	十八世紀イギリスの女性観—『女性兵士、すなわちハンナ・スネルの驚くべき人生と冒険』を通して—
清水穰ゼミ	ナチスの音楽統制とその影響
穂山洋子ゼミ	ドイツのトルコ系移民の社会統合—言語教育とアイデンティティ—
伊藤玄吾ゼミ	オレゴン・ワイン産業におけるブルゴーニュとの関係構築をめぐって—越境的な文化伝播の可能性—
中野幸男ゼミ	多様化する「家族」とはなにか—フランスのパートナー制度と同性婚から見る—
小野文生ゼミ	偏見・差別克服のための教育が抱える課題と可能性—状況的アプローチ研究所(ISTA)の取り組みを手がかりに—
小野文生ゼミ	復旧された旧市街地がミュンヘン市民に与える影響—戦後復興における都市計画を通して—
小野文生ゼミ	他者による表象をわがものにする—フランツ・ファノンの「全的人間」の考察を手がかりに—
穂山洋子ゼミ	19世紀ユダヤ系フランス人の同化と排除—「解放」から陰謀説『ユダヤのフランス』の流行まで—
穂山洋子ゼミ	アルザスの多言語状況—アルザス語保護への取り組みとその課題—
中野幸男ゼミ	Language and Gender:How Inclusive Language Reduces Gender Discrimination

2019年度 ヨーロッパコース

所属ゼミ	卒業論文題目—副題—
水谷智ゼミ	エスニック・マイノリティの集住する地域におけるシティズンシップ教育の実践と解釈
小野文生ゼミ	旧東ドイツのベトナム人契約労働者を巡る社会関係資本の構築について—社会統合のモデルとなったディエン・ホン協会の活動を手掛かりに—
清水穰ゼミ	世界文化遺産ドブロヴニクの象徴性—ユーゴスラヴィア内戦及び戦後クロアチア政治からの考察—
伊藤玄吾ゼミ	ラ・フォンテーヌの『寓話集』と『小話集』—その「教訓」性とテーマ的一貫性の考察—
伊藤玄吾ゼミ	旧仏領アルジェリアの人々のアイデンティティ—「ピエ・ノワール」という名称の持つ意義について—
清水穰ゼミ	ハンドバッグとポケット—ファッション史とジェンダー論の視点から—
水谷智ゼミ	EU諸国のプライバシー保護姿勢に見るAI開発の弊害となるGDPR
中野幸男ゼミ	国によって好みは異なるのか—米仏での日本のアニメマンガの受容—
中野幸男ゼミ	デンマークの幸福の形とは—社会保障と「ヒュッグ」から考える—
穂山洋子ゼミ	ヒトラーによる側近支配—制御的支配の明と暗—
稲本健二ゼミ	建築家アントニ・ガウディとパトロン
水谷智ゼミ	社会インフラの経済的影響—英領インドの鉄道—
稲本健二ゼミ	原住民族運動の求めと民族アイデンティティ—台湾原住民と北欧サーミー—
清水穰ゼミ	ミニマリズム音楽思潮から述べるASMRの持続音—La Monte Youngの音楽観を中心的に—